

幸いシリーズ④ マタイ 5章 6節「義に飢え渴いている者は幸いです。」

後藤正樹牧師

* 義とは

イエス様がここで行われた義は、神様の正しさにそって、御心にそって、私たちが生きる正しさのことを指しています。神様は聖書を通して私たちに御心を教えてくださっています。いつも正しい義なる神様のことばが記されている聖書を私たち人間の正しさの基準として信じています。

* 義に飢え渴く

義に飢え渴くとは神様の御心を求めて正しく生きたいと必死に願っている者の姿です。また御心を行えない自分に嘆くからこそ、義を求め、苦しむそういう姿です。私たちにはこのような飢え渴きがあるでしょうか。食べ物、飲み物の肉体の飢え渴きには敏感なのに、霊的な飢え渴きに対して、私たちは本当に鈍感です。

* 満ち足りる幸い

私たちが心から義の道を求める時、神様が私たちを義なる者へと変えその喜びに満ち足らせてくださるといふ恵みの約束をしてくださっています。求めるなら満ち足りるようにすると約束してくださっています。だから私たちは幸いです。私たちはこの幸いな約束を信じてあなたの義に生きる者へと造りかえてくださいと祈り続けていきたいと願います。また御心を求めて、聖書を学び日々みことばを行う者になりたいと思います。

* 神の義がこの地に

義に飢え渴く。それは神様の義が御心がこの地上でなされるようにという飢え渴きでもありません。神様の正しさがこの地に行われるようにという願いです。時に私たちの目には神は正しくないんじゃないかと思えるようなこともあります。けれども私たちの目に見えないところにおいて、その出来事の背後で働かれる義なる神様が義で満ち足らせてくださるんだということを信じていきたいと願います。特に今、私たちは日本の行く末を案じています。すべてが神様の御手の中にあることを覚えて、日本に神の正しさが現されることを信じて、祈り求めていく者でありたいと願います。神様が私たちを、神の前にふさわしく歩む者とならせてくださり、そしてこの地に私たち神の義をなしてくださる幸いに感謝して期待して主とともに歩んでいきましょう。